



中野区立平和の森小学校

# 校長室だより

令和3年6月25日 No.4

中野区立平和の森小学校

校長 武智 直貴

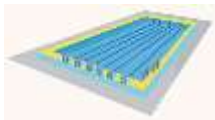
今週、緊急事態宣言が明け、区内では移動教室が始まりました。コロナ禍でのチャレンジですが、実施中の学校からは、子どもたちは決まりを守って、「マスクを外したときは静かに過ごす」ということが徹底できているという話が聞こえてきています。本校も7月5日から5年生の移動教室に行く予定ですが、失礼な行動をとってしまっただけで注意されるのではなく、守るべきことは守り、時と場をわきまえた行動で、せつかくの移動教室がよい経験となるよう、引率の教職員全員で支援したいと思います。

さて、14日に梅雨入りした東京ですが、ここのところ不安定な転校が続き、ちょうど下校の時間に突然の雨や雷があるなど、ご心配されているご家庭も多いかと思います。激しい風雨や雷の状況が分かれば下校を留める判断も出来るのですが、下校を始めて10分位して天候が急変することがあったり、15～20分後くらいに天候の荒れが予想され、今のうちに早く下校させるという判断をしたりすることもあることをご理解いただければと思います。日頃から各ご家庭でも、お子さんと様々なケースでの対応について話題にさせていただき、ご指導いただきますようお願いいたします。



## 週明け、登校時「大雨」の可能性も…

台風5号が、太平洋を北上しています。東京への直撃はなさそうですが、梅雨前線を刺激し、週明けは大雨が予想されています。28日月曜の登校時、激しい風雨で危険が想定される場合は、状況を見て落ち着いてから登校するなど、ご家庭でご判断、ご対応いただきますようお願いいたします。その場合は、Google Form やお電話でお子さんの状況を学校にお知らせいただくと有り難いです。中野区で一斉の対応がある場合や、全体で登校時刻を遅らせるような対応をとる場合は、事前にメール配信でお知らせいたします。



## 今年度の水泳指導について

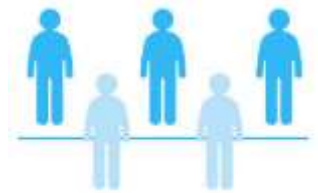
今年度の水泳指導について、中野区教育委員会は、

**「感染症対策について教職員で共有するとともに、児童生徒や保護者にも説明し、理解を図った上で実施すること。」**

としています。一方で、東京都の新型コロナウイルス感染者数がなかなか収まらない状況にあり、水泳指導はマスクを外しての活動であるだけに、実施すること自体への不安は拭えませんが、「中止」とならない以上、どのようにすれば実施できるのかをこれまで検討してまいりました。

具体的に、感染症対策として行うべきことは様々あって、特に児童数の多い本校の場合は、

- ・学年を分割して少人数での指導を行うこと
- ・見学者や、もともと水泳指導には参加しないという児童の管理
- ・更衣室でなるべく密にならないようにする指導
- ・マスクを外した際の unnecessary 会話をさせない指導



といった点で、様々な場面での指導者数を確保できるかどうかを重視して考えました。その他にも例年以上に、

- ・体調が優れない児童・生徒を水泳授業へ参加させない徹底
- ・使用するタオルやゴーグルなどの取り違えや貸し借りをさせない指導
- ・プールでは間隔を十分に空け、できるだけ対面にならない指導
- ・見学者の感染症配慮及び熱中症の注意

等、多くの配慮が必要とされます。



学習指導要領には、体育の「水遊び」「水泳運動」について、

**「適切な水泳環境の確保が困難な場合には、「水遊び」「水泳運動」を取り扱わないことができるが、これらを安全に行うための心得については、必ず取り上げること。」**

とあります。コロナ禍の今年度で言えば、本校は「適切な水泳環境の確保が困難である」と言える状況とも思えます。

しかし、昨年度も実施できていない水泳指導を、コロナ2年目の今年度は何とかできる方法、できる範囲で…とも思います。そこで、「指導者数を確保し、より安全に指導できる体制を作るためには」の視点で考えた結果、本校では**今年度の水泳指導を夏休み中に行う**ことで実現したいと思います。これにより、「授業時間であれば、水泳指導以外の学年学級が授業中であるため、指導者が足りない」という問題と、「そもそもコロナ禍での水泳指導を希望しない児童や、当日体調の優れない児童の見学対応の問題」が解消されるからです。本来授業時間に行うはずの「水泳の心得」の指導については、夏休み前の授業時に行うものとします(具体的には「プール開きの会」として、水泳時や海・川などでのレジャー時における心得について指導する機会をもちたいと思います)。また、今年度の水泳指導は、夏休み中に限らせていただくということと、少人数に対し限られた時間の中で指導することから、従来の「検定」をもとにした泳力向上の指導ではなく、昨年できなかったことを補い、「水泳」を体験する位置づけで進めたいと思います。

具体的な指導体制ですが、プールに入る児童数を抑えるため、1学年を2分して指導することを基本とすると、各学年2クール、6学年で計12クール行うことで、児童が1回水泳を体験できることになります。1日に3クール実施すれば、4日で1回の水泳が体験できます。当初の予定では、本校は夏季水泳指導を7日間予定していましたが、これを12日間に変更し、計画上児童一人あたり3回の水泳体験を実現したいと思います。(なお、3年生については3クラスであることから、他の学年と組み合わせ方が違ってきます。)

	1日目	2日目	3日目	4日目
第1クール	1年1組・1年2組	4年1組・4年2組	1年3組・1年4組	4年3組・4年4組
第2クール	2年1組・2年2組	5年1組・5年2組	2年3組・2年4組	5年3組・5年4組
第3クール	3年1組・3年2組	6年1組・6年2組	3年3組・3年1組	6年3組・6年4組
	5日目	6日目	7日目	8日目
第1クール	1年1組・1年2組	4年1組・4年2組	1年3組・1年4組	4年3組・4年4組
第2クール	2年1組・2年2組	5年1組・5年2組	2年3組・2年4組	5年3組・5年4組
第3クール	3年2組・3年3組	6年1組・6年2組		6年3組・6年4組
	9日目	10日目	11日目	12日目
第1クール	1年1組・1年2組	4年1組・4年2組	1年3組・1年4組	4年3組・4年4組
第2クール	2年1組・2年2組	5年1組・5年2組	2年3組・2年4組	5年3組・5年4組
第3クール	3年1組・3年2組	6年1組・6年2組	3年3組	6年3組・6年4組

この計画で行くと、本校の場合1日の水泳指導教員を学級担任と専科教員を中心に約7名確保できます。これに水泳指導補助員を2名確保できれば、1日あたり9名の指導者で、受付、指導、監視、水質管理、更衣室管理、消毒…といったことに対応できるので、**授業時間に行う水泳指導よりかなり安全が担保できるのではないか…**と思います。マスクを外しての活動であることから、これくらいの慎重を期して指導に臨みたいと考えます。夏休み中ではありますが、本校教員も頑張りますので、この実施方法にご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

週明けに、水泳指導についての正式な文書をお配りいたします。そこでは、具体的な日程もお示しいたします。また、今年度の水泳指導に参加するか否かの調査も行わせていただきますので、よろしくお願いいたします。コロナ禍でありますので、もともと水泳指導に参加させないというご家庭もあるかと思っておりますし、夏休み中ということで、他の予定と重なって参加が難しいという場合もあるかと思っておりますので、各ご家庭でご検討ください。

今年度は、コロナ禍での水泳指導へのチャレンジでもありますので、あらためて慎重を期して臨みたいと思います。児童に指導がより行き届くように、**夏休み中であっても学級単位で日程を組ませていただいております**ことに、重ねてご理解をお願いいたします。

また、例年ですと、この時期「標準水着」の購入をお願いし、「水泳にふさわしい形状や色」の水着の着用をお願いしているところですが、今年度の学校での水泳体験は3回が上限であることから(天候による中止もあります)、せつかく購入していただいても着ることがなく終わる可能性もありますし、成長して来年はサイズが合わなくなってしまうこともあるかと思っておりますので、**水着であれば、特に形状や色にはこだわらないこととします**。ただし、水泳帽については指定のものをお願いいたします。こちらのご案内も、週明けにはお配りいたします。(水着の販売も行いますので、必要と思われるご家庭はご利用いただければと思います。

以上、様々お伝えいたしました。ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。